

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
豊かな心 【道徳・人権】	①横浜子ども会議芹南実行委員が中心となり、「だれにとっても居心地のよい学校づくり」をテーマに児童発信の活動を行い、学校全体で取り組んでいく。 ②道徳の授業及び人権教育の充実を図り、日常の行動に生かすようにする。
担当 道徳、人権・児童指導部	

豊かな心に関わる本校の状況	今年度の目標
<p>(1)豊かな心に関わる児童の実態</p> <p>○本校の児童は、子どもらしくのびのびとした子が多い。一つのこと真剣に向き合い、みんなと協力してやり遂げようとする気持ちがある。地域との関係も深く、地域に生きていることを様々な活動を通して実感している。自分に優しく、相手に厳しい面もある。また、自己肯定感が低く、粘り強く最後までやり抜くことも課題として挙げられる。道徳的な価値を知り身に付けようとする気持ちを、さらに実践につなげていくことが求められる。</p> <p>(令和3年度Y-Pアセスメントの分析)</p> <p>○低学年 全体的に仲間づくりスキルに課題がある。低自己評価群の児童も見られるため、協力する良さや互いに認め合える良さを感じさせていきたい。</p> <p>○中学年 高自己評価群が多くみられるが、人間関係等に不安を感じている児童も見られる。一人ひとりが安心して人間関係を気づける学級づくりが大切と考える。</p> <p>○高学年 集団での活動に戸惑いを感じている児童や学習面での困難さを感じている児童もいる。心に寄り添った支援や学習を行い、クラスへの居場所作りにつなげていきたい。</p>	<p>・自他を大切にする心や態度を育てるとともに、思いやりの心や協力する心を育てる。 ・道徳教育、人権教育、児童指導の充実を図り、誰もが安心して、互いに認め合う学校生活を送ることができるようにする。</p>
目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	<p>○代表委員会等で児童発信の課題を話し合い、自らの生活を豊かにしようとする心を育てる。</p> <p>○横浜子ども会議芹南実行委員が中心となり、「だれにとっても居心地のよい学校づくり」について話し合い、全校で取り組んでいく。</p>
下半期	<p>○人権週間にパラアスリート等の講和を聞いたり、体験活動機会を設けたりして、人との触れ合いから人権意識を高めることができるようにする。</p>